

U
NI
TE
D

F
OO
DS

INTER
NATI
ONAL

2024
ESG
Report



食を通じて 世界の人々の暮らしを 豊かにする

UFIグループはこの企業理念を掲げ、事業活動を通じ サステナブルな社会の実現に貢献してまいります。

当社は、環境と社会への貢献を最優先に考えています。私たちは、再生可能エネルギーの活用やエネルギー効率の向上に取り組むことで、地球温暖化対策に貢献しています。また、多様性と包摂性を尊重し、女性やマイノリティの登用を積極的に進め、社会的責任を果たしています。さらに、地域社会との共生共存を目指し、地域貢献活動や教育支援プログラムを展開しています。地球環境の保全と社会的な課題解決に貢献することで、社会的価値を創出し、持続的な成長を目指しています。

当社のパーパスは、「社会の持続可能な発展に貢献すること」です。この理念に基づき、私たちは技術と情熱をもって、世界の課題に立ち向かい、より良い未来を築いていくことをお約束します。

皆様のご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

 UNITED FOODS INTERNATIONAL 代表取締役 青木 啓之

UFIグループの社会課題への取り組み

我々は、サステナブルな社会の実現のため、『事業活動を通じて社会に貢献する』という基本姿勢のもと、世界共通の課題でもある「2030年持続可能な開発目標の達成(SDGs)」及び「2050年カーボンニュートラル達成」に加え、各事業所周辺での地域貢献活動や、次世代教育に関わるイベントへの協賛などの社会貢献活動に

向け、UFIグループ一丸となって取り組んでおります。

また、「Environment (環境)」、「Social (社会)」、「Governance (企業統治)」の要素を考慮したESG経営を行うことで、社会課題解決への貢献と企業価値向上の両立を図り、持続的発展が可能な社会構築に貢献できるよう努力を続けております。

ESG方針

UFIグループの考えるESGとは、誠実かつ公正な事業活動を通じて企業理念を実践することにより、社会の持続可能な発展に貢献することです。

01

日本のみならずグローバルな視野で
様々な環境・社会課題を認識し、
事業活動を通じて
その解決に向けた価値を
創造及び提供していきます。

02

私たちの事業プロセスが
環境・社会に与える影響を常に考慮し、
その継続的な改善を進めるとともに、
社会にポジティブな影響を
広めていきます。

03

ステークホルダーとの
コミュニケーションを通して、
社会からのリクエストに
適切に応えられているか、
私たちの活動を常に見直していきます。

UFIグループのサステナビリティ目標

6つの分野の貢献拡大 誠実かつ公正な事業活動 (CSR) + 長期的な成長を目標とした事業活動 (ESG)

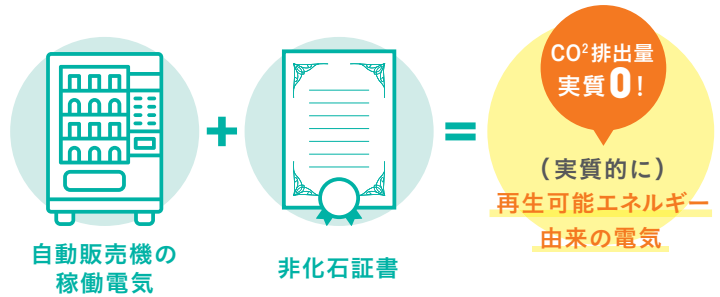
<p>カーボンニュートラル自動販売機設置</p>	<p>排熱エネルギー回収システムの導入 (S・Tecつくば工場)</p>
<p>アップサイクル食品の開発</p>	<p>ダイバーシティの推進と公正な評価</p>

2024年度の取り組み内容

カーボンニュートラル自動販売機設置

自動販売機の年間消費電力量に相当する「再生エネ指定の非化石証書*」により、自動販売機稼働時のCO²排出量を実質ゼロにするカーボンニュートラル自販機を設置。

※石油や石炭などの化石燃料を使っていない「非化石電源(電気をつくる方法)」で発電された電気が持つ「非化石価値」を取り出し、可視化した証書。



排熱エネルギー回収システムの導入 (S・Tecつくば工場)

レトルトラインにエコマイザーと呼ばれる、ボイラーの排ガスと給水を熱交換させるエコシステムを導入。ボイラー給水の温度を先に昇温させることでガスの消費量を削減し、エネルギー効率の向上、CO²排出量の約30%を削減しています。

エコマイザーとは?

エコマイザーは節炭器とも呼ばれ、ボイラーの排ガスと給水を熱交換させる熱交換器です。ボイラー給水の温度を上げることで燃料代を削減することができます。

また、ボイラーのドレン水を環水槽へ回収し、ボイラーの給水に使用することで復水(温水)利用として、ガスの使用量・給水量を軽減する設備も併用しています。



アップサイクル食品の開発

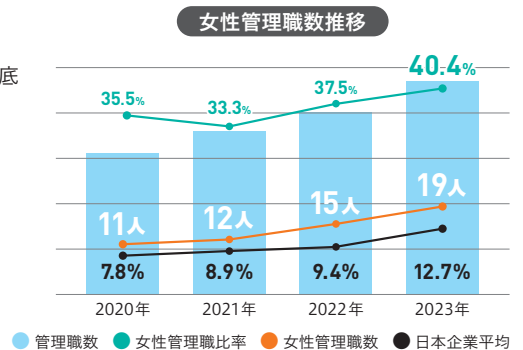
アップサイクル食品とは、本来であれば廃棄されていた食材や食料を活用し、付加価値をつけた新たな商品のことで、環境負荷の小さい循環型社会の実現につながります。

現在、玉ねぎを使用したドレッシング等の開発に取り組んでいます。



ダイバーシティの推進と公正な評価

- ・多種多様な人材登用
- ・同一労働同一賃金の徹底
- ・ジェンダー平等の実現
- ・女性管理職の割合増加



Humming Bird未来基金活動内容



UFIグループは、Humming Bird未来基金の理念に賛同し、持続可能な社会の実現に向け、社会貢献活動を行っております。

2013年8月	公益財団法人日本盲導犬協会への募金活動を開始	
2017年5月	「児童未来基金」発起人会を発足	
6月	「口唇裂・口蓋裂」など特殊な手術を必要とする子供たちへの支援を開始 NPO法人 Tokyo Smile Foundation への寄付	
12月	発起人会 東都クラブ 京葉ボーイズへ活動支援として寄付 「ライラック少年少女合唱団」へ活動支援として寄付を開始	
2018年3月	第2弾「ライラック少年少女合唱団」へ活動支援	
7月	東日本豪雨で被災した子供たちへの支援	
8月	平成30年度「未来を担う私たちの主張（青少年の主張大会）」協賛 【主催】埼玉県・埼玉県教育委員会・青少年育成埼玉県民会議	
2019年1月	「児童未来基金」の名称を「Humming Bird 未来基金」へ刷新	
2月	第1回 UFI Carnation 新設立総会開催 第2弾「口唇裂・口蓋裂」など特殊な手術を必要とする子供たちへの支援 NPO法人 Tokyo Smile Foundation へ寄付	
8月	平成31年度「未来を担う私たちの主張（青少年の主張大会）」協賛 【主催】埼玉県・埼玉県教育委員会・青少年育成埼玉県民会議	
9月	UFI USA30周年記念パーティーにて、盲導犬育成募金を設置	
2020年2月	第3回 UFI Carnation 総会 Humming Bird 未来基金	
1.	「口唇裂・口蓋裂」など特殊な手術を必要とする子供たちへの支援 NPO法人 Tokyo Smile Foundation へ寄付	
2.	誰も取りこぼさない社会をつくる。こども食堂への支援 NPO法人 全国こども食堂支援センター・むすびえへ寄付	
8月	令和2年度「少年の主張大会（旧：青少年の主張大会）」協賛 【主催】埼玉県・埼玉県教育委員会・青少年育成埼玉県民会議	
11月	障害者施設「朝日園」（香川県）：送迎用福祉車両導入支援金として寄付	
2021年4月	UFI ライフサイエンス(株) 企画「日本製サージカルマスク」を 土浦協同病院、龍ヶ崎済生会病院、公平病院へ寄贈	
8月	令和3年度「少年の主張 埼玉県大会」協賛 【主催】埼玉県・埼玉県教育委員会・青少年育成埼玉県民会議	
2022年3月	チャリティーフェア開催（売上金の一部を寄付） 3月23日～3月25日 ファンシーフーズ工場直売店	
2023年5月	少年の主張大会への5年間にわたる協賛に対して、 埼玉県知事の大野元裕氏より感謝状を授与	
8月	令和5年度「少年の主張 埼玉県大会」協賛	
2024年2月	NPO法人「東京発アジアの子どもたちに微笑を」へ寄付	

その他の社会貢献活動

- ・小児がん患者、患児家族への支援活動団体「一般社団法人 みんなのレモネードの会」への寄付
- ・虐待や貧困などの問題を抱える子供たちへの支援団体「認定NPO法人3Keys(スリーキーズ)」への寄付

会社概要

名称	UNITED FOODS INTERNATIONAL株式会社	売上高	UFIグループ合計871億円（2024年9月）
創立	1976年10月	代表取締役	青木 啓之
資本金	9,900万円	所在地	〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町1-5-18 千代田ビル

